



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

**国際医療福祉大学 受講料無料**

# 市民公開講座

※国際医療福祉大学では、大学の一部の授業を「市民公開講座」として一般市民の方に公開しています。

**開講科目：「総合講義」 全7回**

いまこの時代に生きる私たちはどのような生き方やあり方が求められるのでしょうか？

「世界における日本の役割」を共通のテーマとして、  
本学所属の経験豊富な講師陣が、専門的知見を通して考えていきます。

本学の学生たちと一緒に学びましょう。

●開講期間：11月15日（金）▶12月27日（金）

※全回 16:20～17:50

於 国際医療福祉大学大田原キャンパス  
栃木県大田原市北金丸 2600-1

●募集期間：9月2日（月）▶9月24日（火）※定員 50名

●申込方法：本紙裏面の申込用紙を、大学教務課窓口へ持参、郵送またはFAXで送付してください。

※申込用紙は、大学教務課窓口のほか、大学ホームページからも取得できます。



## ～ 講座内容 ～

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 第1回 | 11/15 (金)  | <b>医療の飛躍的發展を実現するゲノム医学研究</b>   |
|     |    | 大学院医学研究科医学専攻主任<br>ゲノム医学研究所長<br>大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻遺伝カウンセリング分野責任者<br><b>辻 省次</b> 教授<br>東京大学医学部卒 医学博士<br>前東京大学大学院医学研究科脳神経医学専攻長<br>前東京大学ゲノム医学研究機構長<br>東京大学名誉教授、日本学術会議連携会員   |
| 第2回 | 11/22 (金)  | <b>元・財務官が語る最近の国際情勢</b>  |
|     |    | 国際医療福祉大学<br><b>山崎 達雄</b> 特任教授<br>東京大学法学部卒<br>外務省在フランクフルト日本国総領事館領事<br>JBIC 開発金融研究所主任研究員(在シンガポール)<br>金融庁総務企画局参事官(競争力強化・国際担当)<br>国際局長<br>財務官   |
| 第3回 | 11/29 (金)  | <b>21世紀の医学教育</b>  |
|     |    | 医学教育統括センター長<br>成田キャンパス国際交流センター長<br><b>赤津 晴子</b> 教授<br>フルブライト奨学生として渡米、ハーバード大学、ブラウン大学を経てアメリカで医師免許取得。ピッツバーグ大学とスタンフォード大学で診療と医学教育に携わる。前スタンフォード大学医学部准教授。「アメリカの医学教育（日本評論社）」などの著書が 日本人学生に大きな影響を与えた。                       |
| 第4回 | 12/ 6 (金)  | <b>整理整頓が命を救う<br/>～ベトナムの医療機関での取り組み～</b>  |
|     |  | 大学院医学研究科医学専攻・公衆衛生学専攻<br><b>和田 耕治</b> 教授<br>北里大学医学部公衆衛生学准教授を経て、国立国際医療研究センター国際医療協力局、出向にて JICA ミャンマー国主要感染症プロジェクト HIV 専門家、JICA ベトナム国チョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクトチーフアドバイザーを歴任。   |
| 第5回 | 12/13 (金)  | <b>グローバル時代をタフに生き抜くために</b>   |
|     |  | 大学院<br><b>木村 伊量</b> 特任教授<br>早稲田大学政治経済学部卒<br>朝日新聞ワシントン特派員、政治部長、<br>東京本社編集局長、ヨーロッパ総局長などを経て<br>2012年、代表取締役社長<br>2016年、英セイレンズベリー日本芸術研究所<br>シニア・フェロー   |
| 第6回 | 12/20 (金)  | <b>日本の災害経験を活かす国際貢献</b>  |
|     |  | 大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻災害医療分野責任者<br><b>石井 美恵子</b> 教授<br>1995年米国で災害時の行政・医療対応を学ぶ。JICA 国際緊急援助隊医療チームや NPO 法人災害人道医療支援会(HuMA)等で国内外の災害医療支援に従事。外務省女性・平和・安全保障に関する行動計画評価委員、日本災害医学会理事、日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2012大賞受賞。                    |
| 第7回 | 12/27 (金)  | <b>「医療の常識」の真実<br/>～健康・長寿のために～</b>   |
|     |  | 大田原キャンパス医療福祉学部学部長<br><b>田中 秀一</b> 教授<br>慶應義塾大学経済学部卒業後、読売新聞社に入社。医療情報部長(現医療部)、社会保障部長、論説委員(社説)、編集局長長を歴任。1993年より18年間、幅広い医療福祉の問題をわかりやすく取り上げた長期連載企画「医療ルネサンス」を担当し、現代の医療福祉の光と影に目を凝らしてきた。98年に「国内初の卵子提供による体外受精」の報道で新聞協会賞受賞。 |